

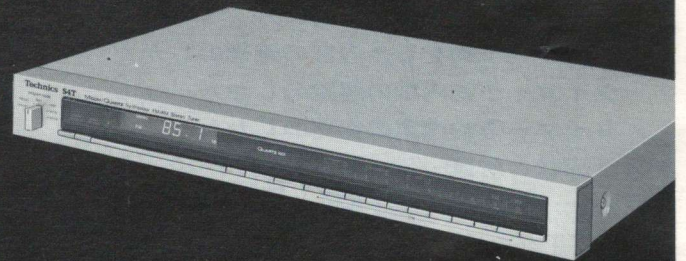
Technics

マイコム / クォーツ シンセサイザ
FM/AMステレオチューナ

ST-S4T

取扱説明書

Technics S4T



- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 保証書はお求めの販売店で受取っていただき、内容をよくお確かめのうえ、後々のためこの説明書とともに大切に保存してください。

上手に使うって上手に節電
音量は必要以上に大きくしないで / ご使用後は、忘れずに電源を切って /

松下電器産業株式会社

このたびは、Technics のマイコム/クォーツシンセサイザFM/AMステレオチューナST-S4Tをお買い求めいただき、まことにありがとうございました。

目次

● 付属品	2
● 本機の手入れ	2
● アフターサービスについて	2
● ステレオ音のエチケッ	2
● 本機を安全にご使用いただくために	3
● 乾電池の役割りと入れ方・取り出し方	4
● 乾電池が消耗したり、乾電池を入れずに使用した場合	4
● ステレオシステムの構成と接続	5
● FMアンテナの接続と使い方	6
● AMアンテナの接続と使い方	6
● 前面操作部の名称と使い方	7～9
● 現在時刻の合わせ方	10
● プリセットメモリのしかた	11
● 放送受信と演奏のしかた	12～13
・ ラジオ放送の聞き方	
・ レコード演奏の聞き方	
・ テープ演奏の聞き方	
・ すべてに共通した操作	
・ ご注意	
● プログラムタイマー予約のしかた	14～18
・ プログラムタイマーの予約手順	
・ 具体的なプログラムタイマー予約のしかた	
・ タイマー動作の種類と使い方	
・ タイマー予約をした内容の確認のしかた	
・ タイマー予約内容の解除のしかた	
・ タイマー予約内容の変更のしかた	
● 異常症状と対策	19～21
● 定格	裏表紙

付属品

● ステレオピンタイプコード	1
● 簡易形FMアンテナ	1
● 乾電池(SUM-3:1.5V)	3

本機の手入れ

本機が汚れたときは、柔らかい布でふきとってください。ひどい汚れは、うすい石けん水に柔らかい布を浸し、固く絞ってふきとった後、乾いた布でふいてください。

アフターサービスについて

1. 保証書 (別に添付してあります。)

保証書は販売店からお渡し致しますから、必ず「販売店名・購入日」等の記入をお確かめになり、保証書内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

保証期間—お求めの日から1年間です。
2. 保証期間中に修理を依頼されるとき

もう一度取扱説明書をよくお読みいただき、ご確認のうえ、なお異常のあるときには、必ず電源プラグを抜いてから、お求めの販売店に保証書を添えて修理を依頼してください。

保証書の記載内容により、販売店が修理致します。

〈連絡していただきたい内容〉

 - ・ ご住所・ご氏名・電話番号
 - ・ 製品名・品番・ご購入日(保証書をご覧ください。)
 - ・ 故障内容・異常の状況(できるだけ詳しく)
 - ・ 訪問ご希望日
3. 保証期間経過後、修理を依頼されるとき

お求めの販売店に、まずご相談ください。

修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料で修理致します。
4. 補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年です。

この期間は通商産業省の指導によるものです。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
5. 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な点は

お求めの販売店又は最寄りの「ご相談窓口」(別紙ご参照)にお問合わせください。

ステレオ音のエチケッ

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。

隣り近所への配慮を十分にいたしましょう。

ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。

特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。

夜間の音楽鑑賞には特に気を配りましょう。

窓を閉めたりヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

お互いに心を配り快い生活環境を守りましょう。

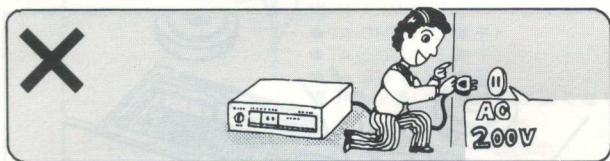


音のエチケッ
シンボルマーク

本機を安全にご使用いただくために

■ご使用いただく電源電圧はAC100Vです

- 1) 交流 (AC) 200V で使うと大変危険です。
大型クーラやセントラルヒーティングの電圧は 200V です。誤って接続すると発火の恐れがあります。
- 2) 直流 (DC) 電源では使えません。
船舶などは、直流 (DC) 電源を使用している場合がありますので、よくお確かめください。



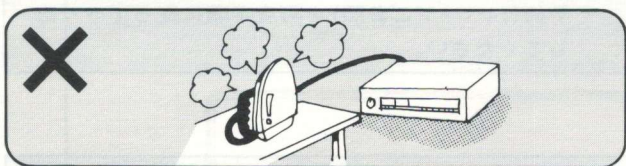
■電源プラグの抜き差しは

- 1) ぬれた手は危険です。
ぬれた手で抜き差しは感電の恐れがあります。
- 2) 電源コードを引っばらずに。
必ず電源プラグを持ってはずしてください。



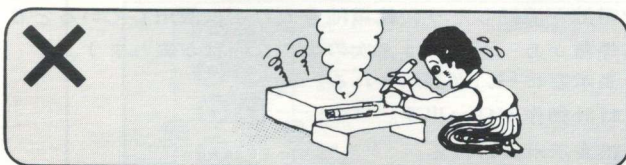
■後面の電源コンセント

- 1) 接続する機器の消費電力は、よくお確かめください。
必ず、表示電力以下でご使用ください。
- 2) アイロンやトースタなどは、絶対に接続しないでください。
消費電力の大きい電化製品を接続すると過熱などから思わぬ事故の原因となります。



■改造は事故のもと

改造したり、不用意に内部を触ると、感電や故障の原因になります。



■とくにお子様のおられるご家庭では

セット内部には絶対金属などを差し込まないようにしてください。

本機のすき間などから、硬貨、縫い針、ねじ回しなどの金属物を差し込むと感電や故障の原因になります。



■直射日光が当たらず、風通しのよい所へ設置を
壁面より10cm以上離れた風通しの良い所を選び設置してください。



■水は禁物です

万一本機に水が入った場合は、火災や感電の恐れがありますので、ただちに電源プラグをコンセントから抜き取り、お求めの販売店にご相談ください。



■本機の近くには、ストーブなど置かないように
輻射熱により、キャビネットや内部の回路部品を傷め寿命を短くする原因になります。



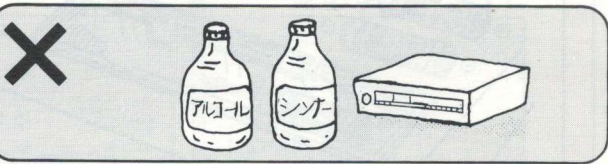
■スプレー式の殺虫剤にご注意を

殺虫剤がかかると、「ヒビ割れ」や「くもり」を生ずることがあります。また、スプレーのガスは引火の恐れもありますので、ご注意ください。



■アルコールやシンナーは禁物です

塗装がはげたり、くもりが生じます。



■万一故障が起きたら

使用中に音が出なくなったりランプが消えたり、また異様なにおいや煙が出た場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き取り、お求めの販売店またはナショナル消費者ご相談窓口にお申し出ください。

乾電池(バッテリー)の役割りと入れ方・取り出し方

この乾電池は、停電時のプリセットメモリー^{*1}、ラストワンメモリー^{*2}、タイマー予約のバックアップ(保持)を行うものですが、本機の電源コードがご家庭の電源コンセントに接続されている場合は、AC電源でこれらのバックアップを行っています。

乾電池が消耗した場合に、電源コードを電源コンセントからはずしたり、また停電などの場合はこれらのメモリーがすべて解除されますのでご注意ください。

※1、プリセットメモリーとは：

希望の放送局をプリセットチューニングボタン④にメモリーしておき、必要な時に希望の局をワンタッチで選局することです。

※2、ラストワンメモリーとは：

電源をoffにするときのFMまたはAMの放送局をメモリーしていることで、再び電源をonにすると、offにするときに受信していた放送を受信することです。

※3、タイマー予約とは：

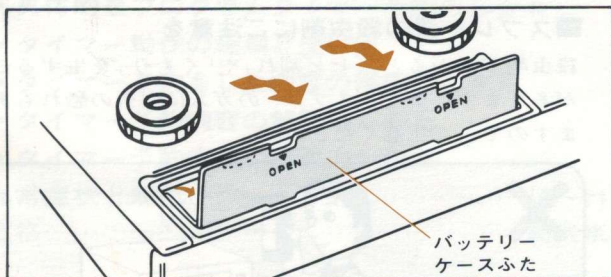
希望するラジオ放送の電源をいつon-offさせるかを予約することです。

■乾電池の種類

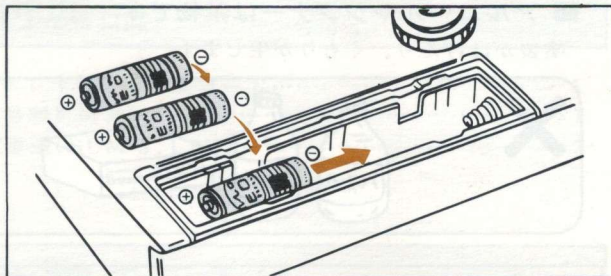
単3乾電池「SUM-3:1.5V」を3コご使用ください。

■乾電池の入れ方

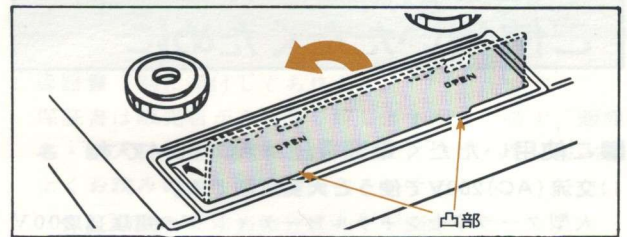
1. バッテリーふたの「open」部分を矢印方向「▼」に引き、持ち上げてふたをはずす。



2. 乾電池をバッテリーケースに入れる。

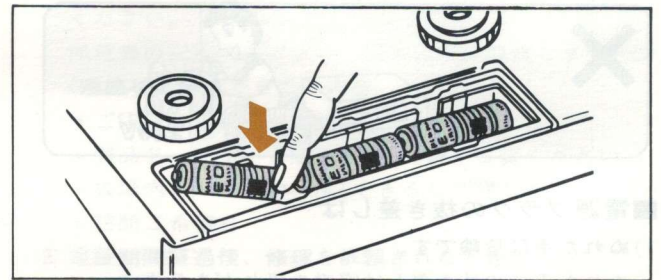


3. ふた左右の凸部を先にはめ、ふたを閉める。



■乾電池の取り出し方

左端の乾電池を矢印の方向に押し取り出す。



■乾電池の寿命

通常の使用状態では約2年、電源コードをご家庭の電源コンセントからはずしていた場合は、約2ヵ月です。

■乾電池使用時のご注意

1. 新しい乾電池と1度使用した乾電池の混用、また種類の異った乾電池の混用はしないでください。破裂や液漏れの恐れがあります。
2. 長期間使用しない場合は、乾電池を取りはずしてください。

注、乾電池を取り出し、電源コードをはずすと時計動作が停止し、メモリーが解除される場合がありますので、この場合は、現在時刻(10ページご参照)、プリセットメモリー(11ページご参照)、タイマー予約(14ページご参照)を再度手順に従ってやり直してください。

乾電池が消耗したり、乾電池を入れずに使用した場合

乾電池が消耗したり、乾電池を入れずに使用しているときに停電があった場合は、次のような症状が表れます。

- 表示窓に「E」が表示される。
- 時計動作が狂い出す。
- 誤表示が表われる。

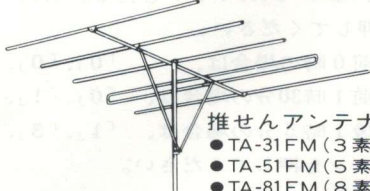
このような場合はすべてのメモリーが解除されていますので、まず乾電池を新しいものに交換し、再度手順に従ってやり直してください。

ステレオシステムの構成と接続

FM、AM放送ともよい音質で受信するため、屋外アンテナの設置をお勧めします。

FM屋外アンテナ

(山間部や鉄筋ビル内など、電波の弱い地域では必要です。)



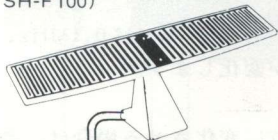
推せんアンテナ

- TA-31FM (3素子)
- TA-51FM (5素子)
- TA-81FM (8素子)

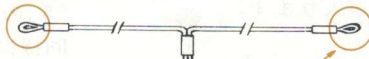
素子数が多いほど性能がよくなります。

FM室内アンテナ

(Technics FMウィングアンテナ：SH-F100)



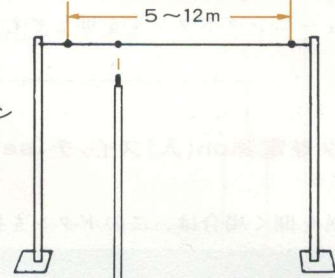
FM簡易型室内アンテナ (付属)
(T字型に広げ、最も感度のよい高さ
向きを捜して壁などにはりつける。)



押しピンやセロファンテープなどで止める

AM屋外アンテナ

(山間部や鉄筋ビル内など、電波の弱い地域では必要です。)



5~12mのビニール被覆線を窓際などへ水平に設置する。

電源コンセント(スイッチ連動)：
このコンセントへの接続により、プ
リメインアンプの電源スイッチを「on」に
しておくと、本機の電源 on-off に連動して、
プリメインアンプが on-off されます。



Technics ST-S4 T

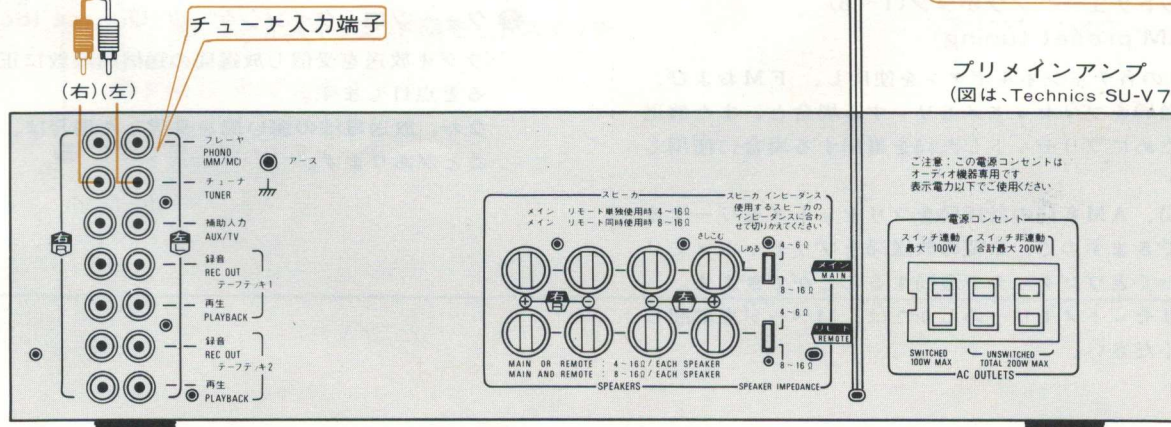
押え金具
網線
芯線

網線は、必ず「押え金具」に接触すること

ステレオピンタイプコード (付属)

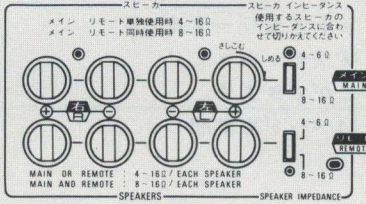
電源コンセント AC 100V

ご家庭の電源コンセント：
本機は、タイマー機能を有して
いますので、必ずご家庭の電源
コンセントに接続してください。

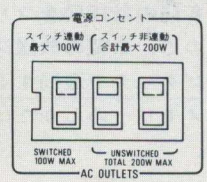


チューナー入力端子

プリメインアンプ
(図は、Technics SU-V7)



ご注意：この電源コンセントはオーディオ機器専用です。表示電力以下でご使用ください。



FMアンテナの接続と使い方

放送を最良の状態を受信するため、ご使用地域の電波状態に応じた適切なアンテナをお選びください。

■ FM屋外アンテナ

1. 選び方

- 1) 放送電波の強い地域（放送局が近く、送信アンテナの見通せるような所）：
3～5素子程度のアンテナを設置してください。
- 2) 放送電波の弱い地域（山間部やビルの谷間など）：
5素子以上のアンテナを設置してください。

注) 何素子のアンテナが良いかは、販売店ともよくご相談のうえお求めください。

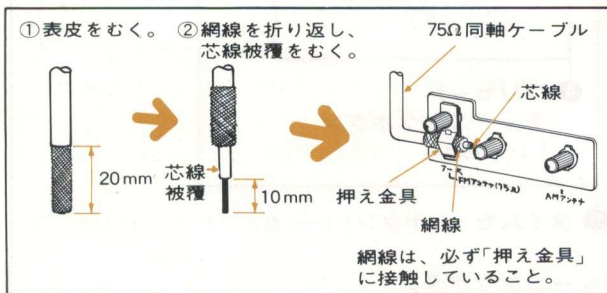
2. アンテナ線

外部からの妨害雑音に強い、75Ω同軸ケーブル(品番3C-2V)の使用をお勧めします。

3. インピーダンスマッチング

75Ω同軸ケーブルが直接接続できないアンテナの場合は、マッチングトランスをお求めいただき、トランスはできるだけアンテナの近くに設置してください。

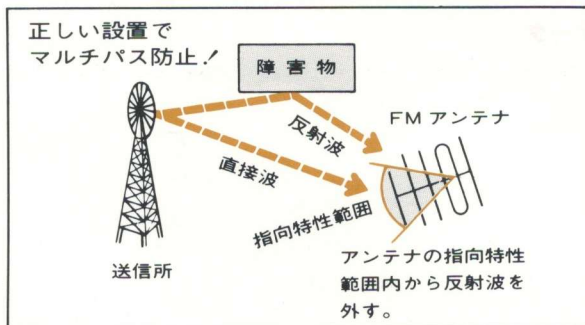
4. アンテナ端子への接続のしかた



5. 設置場所

次の場所に設置してください。

- 1) 建物の陰にならず、FM放送電波を直接受ける所。



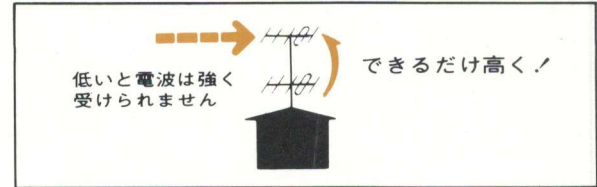
注) マルチパス歪とは：

近くの山やビルに反射した電波（反射波）と送信所からの電波（直接波）の干渉による歪。

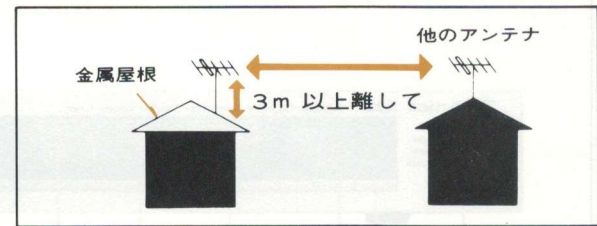
- 2) 自動車の通る街路やネオン看板などから離れた所。



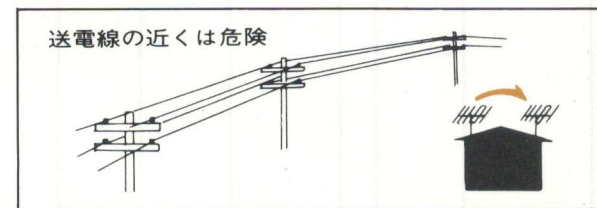
- 3) 山間部などの特殊な地域を除き、地上4m以上の高い所。



- 4) 金属屋根や他のアンテナなどから3m以上離れた所。



- 5) 危険防止のため、送電線から離れた所。



AMアンテナの接続と使い方

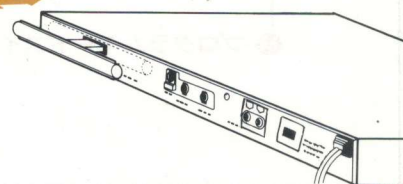
本機は、AM用高感度フェライトバーアンテナを内蔵していますので、特に電波の弱い地域以外は、屋外アンテナを必要としません。

■ フェライトバーアンテナの使い方

フェライトバーアンテナを手前(約25mm)に引出して固定してください。

雑音防止のために：

このアンテナには、スピーカーコードや電源コードを近づけないでください。

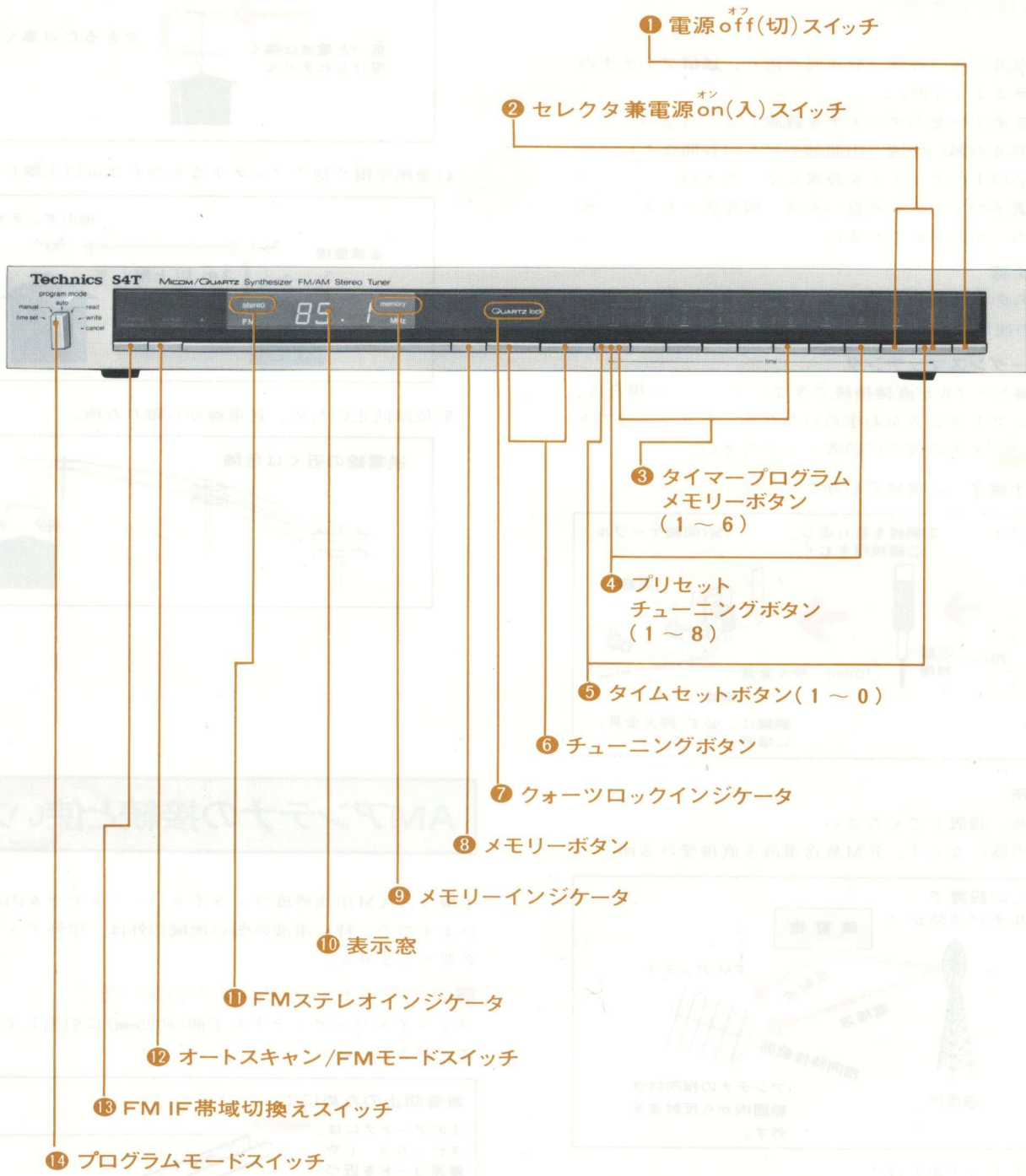


■ AM屋外アンテナの設置のしかた

山間部や鉄筋ビルの谷間など、放送電波が弱く、フェライトバーアンテナだけでは受信困難の場合は、屋外に専用アンテナを設置してください。この場合、送電線、高圧線、高い建物、道路から離れた所をお選びください。

前面操作部の名称と使い方

このページは常に開いてお使いください。
各説明文の中に出てくるスイッチやつまみ類の名称がよくご理解いただけます。



① 電源
電源
切れ
なお
この
にし
注、

② セレ
FM
FM
AM
AM

③ タイ
エ
(eve
毎日
オン
を on
エプ
ever
これ
る場
スイ
目覚
オフ
offす
ワンス
once
この
予約
どに
注、

④ プリ
(FM
(1)~
AM
受信
ます
FM
こと
一し
注、

① 電源off(切)スイッチ(off)

電源をoffする場合に使用するスイッチで、押すと電源が切れます。

なお、タイマー機能が動作中は電源が切れませんので、この場合は、プログラムモードスイッチ⑭を、「manual」にしてこのスイッチを押してください。

注、電源は、プログラムモードスイッチ⑭を「manual」または「auto」にし、セレクト兼電源onスイッチ②の「FM」または「AM」を押すと入ります。また、直接プリセットチューニングボタン④を押しても電源が入ります。

② セレクト兼電源on(入)スイッチ(selector)

FM:

FM放送を聞く場合は、このボタンを押します。

AM:

AM放送を聞く場合は、このボタンを押します。

③ タイマープログラムメモリーボタン(1~6) (everyday 1, everyday 2, once)

毎日同じ時刻に電源をon-offする場合と、1回のみ電源をon-offする場合のタイマー予約をするボタンです。

everyday 1, everyday 2:

これらのスイッチは、毎日同じ時刻に電源をon-offさせる場合に使用します。

スイッチは2系統ありますので、例えば「everyday 1」は目覚まし用にon-offし、「everyday 2」はお休み前にon-offするように予約すると便利です。

once:

このスイッチは、1回電源がon-offされるとタイマー予約機能は解除されます。従って留守録音をする場合などに利用すると便利です。

注、これらのスイッチが動作する優先順位は、

1. 「once」、2. 「everyday 2」、3. 「everyday 1」の順です。
- 詳しくは、17ページの「タイマー動作の種類と使い方」を参照してください。

④ プリセットチューニングボタン(1~8) (FM/AM preset tuning)

(1)~(8)の各チャンネルボタンを使用し、FMおよび、AM放送局をプリセットメモリーする場合と、また放送受信のためにプリセットした局を選局する場合に使用します。

FM 8局、AM 8局の計16局をプリセットメモリーすることができますので、希望の放送局をプリセットメモリーしておくでワンタッチで選局することができます。

注、プリセットメモリーのしかたは、11ページを参照してください。

⑤ タイムセットボタン(1~0)(time)

(1)~(0)の各スイッチボタンを使用し、現在時刻を合わせる場合とプログラムタイマー予約をする場合のon時刻(電源が入る時刻)とoff時刻(電源が切れる時刻)を指示する場合に使用します。

なお、時刻表示は、0時00分から23時59分まで24時間表示で行われますので、必ず、何時何分を4桁で指示してください。従って、午前7時45分の場合は、0,7,4,5となりますので、まず「0」のボタンを押し、次に「7」、「4」、「5」の順に押してください。

同様に、午前0時の場合は、「0」、「0」、「0」、「0」

午前1時30分の場合は、「0」、「1」、「3」、「0」

午後1時5分の場合は、「1」、「3」、「0」、「5」

の順で各ボタンを押してください。

⑥ チューニングボタン(tuning)

放送局を選局するボタンで、FMは0.1MHz、AMは9kHzステップで周波数が変化します。

◀(ダウン):

受信周波数を低い方に变化させる場合は、このボタンを押してください。

▶(アップ):

受信周波数を高い方に变化させる場合は、このボタンを押してください。

選局のしかた:

選局の方法は、オートスキャン/FMモードスイッチ⑫の位置によって異なります。次の要領で行ってください。

・自動選局する場合

オートスキャン/FMモードスイッチ⑫を「on/auto」にしてください。

アップまたはダウンのボタンを1回押すだけで、放送局が自動的に選局されます。

・手動選局する場合

オートスキャン/FMモードスイッチ⑫を「off/mono」にしてください。

この位置では自動選局されませんので、アップまたはダウンのボタンを押し、希望放送局の周波数表示で止めて受信してください。

⑦ クォーツロックインジケータ(Quartz lock)

ラジオ放送を受信し放送局の送信周波数に正確に同調すると点灯します。

なお、放送電波の弱い局を受信した場合は、点灯しないことがあります。

8 メモリーボタン (memory)

FMとAMの放送局をプリセットチューニングボタン④にメモリーさせる場合に使用します。押すとメモリーインジケータ⑨が点灯しますので、このインジケータが点灯中に放送局をメモリーしてください。

注, 1. プリセットメモリーのしかたは、11ページを参照してください。

2. オートスキャン/FMモードスイッチ⑫を「オン on/auto」の位置で選局中にこのボタンを押すと、音が出なくなりますのでご注意ください。

9 メモリーインジケータ (memory)

メモリーボタン⑧を押すと点灯します。

FMやAM放送の受信周波数をプリセットメモリーする場合は、このインジケータが点灯中(約5秒)にプリセットチューニングボタン④を押してください。

注, プリセットメモリーのしかたは、11ページを参照してください。

10 表示窓

ラジオ放送の受信周波数と時刻を表示します。



11 FMステレオインジケータ (stereo)

FMステレオ放送を受信すると点灯します。

なお、オートスキャン/FMモードスイッチ⑫を「オフ off/モノ mono」にしている場合は、ステレオ放送であってもモノラル放送として受信され、インジケータは点灯しません。



12 オートスキャン/FMモードスイッチ (auto scan/FM mode)

選局の方法を自動または手動に切り替える場合 (オートスキャンスイッチの機能) と、ステレオ再生またはモノラル再生の切り替え (モードスイッチの機能) をするスイッチです。

オン on/オート auto ( → ) :

放送局を自動で選局する場合と、FM放送をステレオ再生する場合は、この位置にします。

チューニングボタン⑥を押すと放送局が自動的に選局されるとともに、FMのステレオ放送はステレオでモノラル放送はモノラルで受信されます。

オフ off/モノ mono ( → ) :



放送局を手動で選局する場合と、FM放送をモノラル再生する場合は、この位置にします。

この位置では、選局の方法が手動選局となりますので、チューニングボタン⑥を押し、希望放送局の周波数表示で止めて受信してください。



また、この位置では、ステレオ放送でもモノラルとして受信されます。

13 FM IF帯域切換えスイッチ (FM IF band)

隣接局の影響や遠隔地等により電波が弱く妨害波が混入し、希望放送局が受信できない場合に使用するスイッチです。

ノーマル normal ( → ) :

受信電波の強い地域や妨害波の影響が少ない場合は、この位置にしてください。

スーパー super ナロー narrow ( → ) :

妨害波が混入し、希望放送局が受信できない場合は、この位置にしてください。

14 プログラムモードスイッチ (program mode)

現在時刻を合わせたり、プログラムタイマー予約をしたり、またタイマー予約した機能を動作させる場合に使用するスイッチです。

タイム time セット set :

現在時刻を合わせる場合は、この位置にします。

マニュアル manual :

プログラムタイマー予約 (auto動作) に関係なく手動 (manual) での放送受信をする場合はこの位置にします。

オート auto :

プログラムタイマー予約した内容を自動 (auto) で動作させる場合は、この位置にします。

なお、プログラムタイマー予約をしていない時間帯では、この位置でも「マニュアル manual」と同じ操作ができます。

リード read :

プログラムタイマー予約した内容を確認する場合は、この位置にします。

ライト write :

プログラムタイマー予約する場合は、この位置にします。

キャンセル cancel :

プログラムタイマー予約した内容を解除 (cancel) する場合は、この位置にします。

タイマー機能オート動作中のご注意

1. オート動作中は、⑫、⑬、⑭以外の操作ボタンの機能は、働きません。

但し、プログラムモードスイッチ⑭を「マニュアル manual」に切り替えた場合、またはオートスキャン/FMモードスイッチ⑫を切り替えた場合は、手動 (manual) 操作に戻ります。

2. オート動作中にプログラムモードスイッチ⑭を「リード read」に切り替えると電源が切れます。

特に録音中などは、ご注意ください。

現在時刻の合わせ方

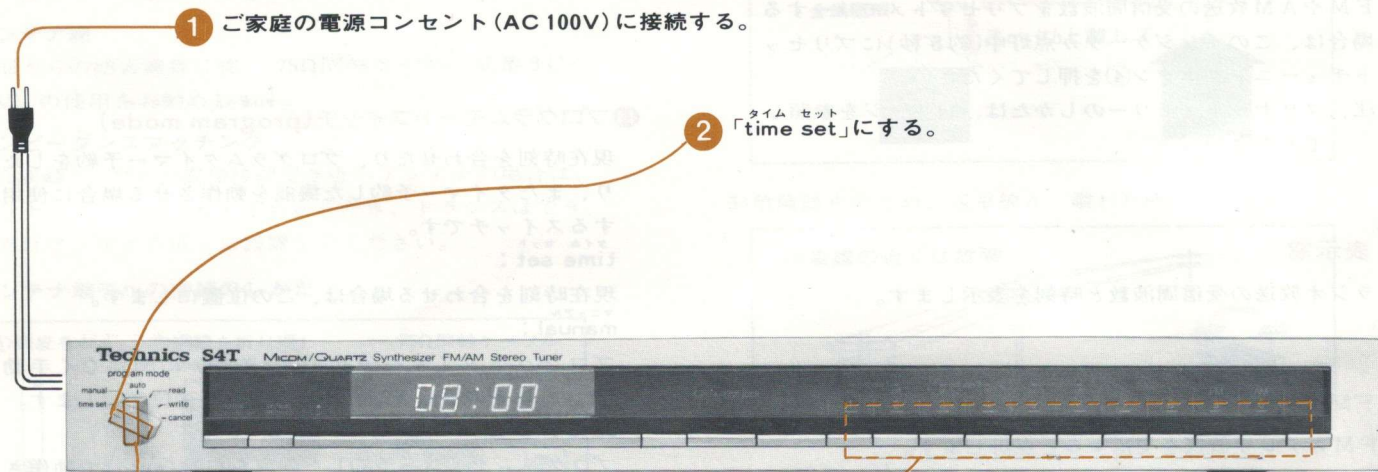
(番号順に操作してください)

本機をご使用になる前に、必ず現在時刻を合わせてください。

本機の時計機能を正確なものにすると共に、14ページの「タイマー予約」をする場合に必ず正確な時刻を必要とするためです。

本機は、24時間表示型(0時00分から23時59分まで)の時計(clock)機能を備えています。時計機能を動作させるには、次の要領で操作してください。

なお、この操作は、ラジオ放送受信中でも同要領で行うことができます。



4 時報などに合わせて「manual」に切り替える。

時計機能は、「manual」に切り替えた瞬間から動作します。
(8:00 現在時刻が現れる。)

注、ラジオ放送を聞きながら、時刻を合わせている場合は、「manual」にすると、ラジオ放送の周波数が現れる。

3 タイムセットボタン(1)~(0)を使い、時刻を4桁で指示する。

例えば、午前8時00分の場合は、「0」「8」「0」「0」となり、午後7時5分の場合は、「1」「9」「0」「5」となります。午前8時00分に合わせる場合は、次の順にボタンを押す。

「0」 0 :
「8」 08 :
「0」 08:0
「0」 08:00

注、ボタンを押し違えた場合は、1度4桁を押した後、最初からボタンを押しなおしてください。

プリセットメモリーのしかた(ラジオ放送局のメモリー)


(番号順に操作してください)

本機は、FM 8局、AM 8局の計16局の放送局のメモリーとメモリーした局を必要な時にワンタッチで選局できるプ

リセットメモリー機能を備えています。

プリセットメモリーは、次の要領で操作してください。

1 「manual」にする。

2 「on/auto」()にする。

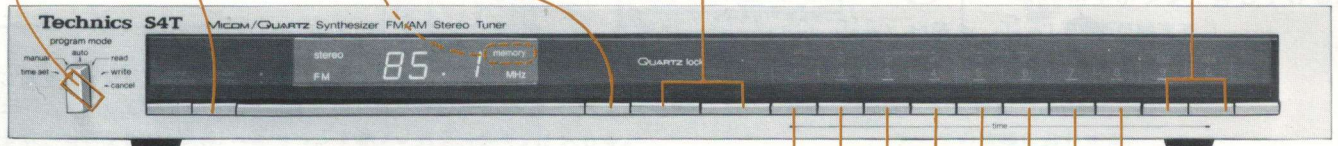
なお、放送電波の弱い局を受信する場合は、「off/mono」にする。

3 FM放送をメモリーするとき：「FM」を押す。
AM放送をメモリーするとき：「AM」を押す。

4 希望の放送局を受信する。

受信周波数は、「▶(アップ)」を押すと高い方に移動し、「◀(ダウン)」を押すと低い方に移動する。

5 押す。
(メモリーインジケータが約5秒間点灯する。)



6 (1)~(8)のボタンの内、プリセットメモリーしたい数字のボタンを、メモリーインジケータが点灯中に押す。

ボタンを押すとメモリーインジケータが消えてメモリーが完了する。

注、ボタンを押す前に、メモリーインジケータが消えた場合は、再度、手順⑤のボタンを押す。

7 各ボタンにどの放送局をメモリーしたかを下図のようなシートを作成し、記録してください。

以上でプリセットメモリーは完了です。

他のプリセットチューニングボタンにも②~⑦の手順でプリセットメモリーしてください。

注、新しい放送局をプリセットメモリーすると最初にメモリーされていた放送局は解除されます。

放送局	チャンネル	1 CH	2 CH	3 CH	4 CH	5 CH	6 CH	7 CH	8 CH
F M	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局
	MHz	MHz	MHz	MHz	MHz	MHz	MHz	MHz	MHz
A M	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局
	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz

■便利な使い方

1. FMやAM放送は、ワンタッチで選局と受信ができます。

本機のセレクトスイッチの「FM」や「AM」のボタンを押さなくても、希望するプリセットチューニングのチャンネルボタン(1~8の内どれか)を押すだけで、そのチャンネルにメモリーされているFMまたはAMの放送局を受信することができます。

ただし、以前に受信されていた放送がFMの場合はFMが受信され、またAMの場合はAMが受信されます。

2. 電源を切る前にお聞きになっていた放送局が受信できます。

「FM」または「AM」のボタンを押すと、電源を切る前にお聞きになっていたFMまたはAMの放送局が受信できます。

放送受信と演奏のしかた

(すべて番号順に操作してください。)

注. 掲載したプリメインアンプは、Technics SU-V7です。

ラジオ放送の聞き方

1 (✓)「0→1」
選局しやすいように小さく音が出るようにする。

2 「manual」または「auto」にする。
マニユアル オート

3 • FM放送を聞くときは、「FM」を押す。
• AM放送を聞くときは、「AM」を押す。

4-1 選局する。
• プリセットメモリーしている場合は：
プリセットチューニングボタンの希望のボタンを押す。

4-2 選局する。
• プリセットメモリーしていない場合は：
チューニングボタンで希望の放送を選局する。

5 「on/」または「off/」にする。
(FMステレオ放送で雑音が多い場合は、「off/mono」にする。但し、放送は、モノラルになる。)

6 「on」にする。

7 「main」または、「main and remote」にする。
(スピーカを「remote」端子に接続している場合は、「remote」または、「main and remote」にする。)

8 「tuner」にする。

9 「stereo」にする。

10 (✓) 音量を調整する。

選局時のご注意：
選局中に、放送局のない所でチューニングボタンを離したり、また放送局をプリセットしていないプリセットチューニングボタンを押して離すと、ノイズ(雑音)が出てスピーカを破損することがありますので、音量を絞って操作してください。

注. ⑥～⑩の手順は、使用する機器により異なります。

レコード演奏の聞き方

1 (✓)「0」にする。

2 「manual」または「auto」にする。
マニユアル オート

3 「FM」または「AM」を押す。
(プリメインアンプの電源が入る。)

4 • MM型カートリッジを使用する場合は：
「MM」を押す。
• MC型カートリッジを使用する場合は：
「MC」を押す。

5 「phono」にする。

6 「main」または、「main and remote」にする。
(スピーカを「remote」端子に接続している場合は、「remote」または、「main and remote」にする。)

7 「on」にする。

8 「stereo」にする。

9 レコードを載せる。

10 電源スイッチ：
「on」にする。

11 スピード切換えボタン：
レコードの回転数に合わせる。

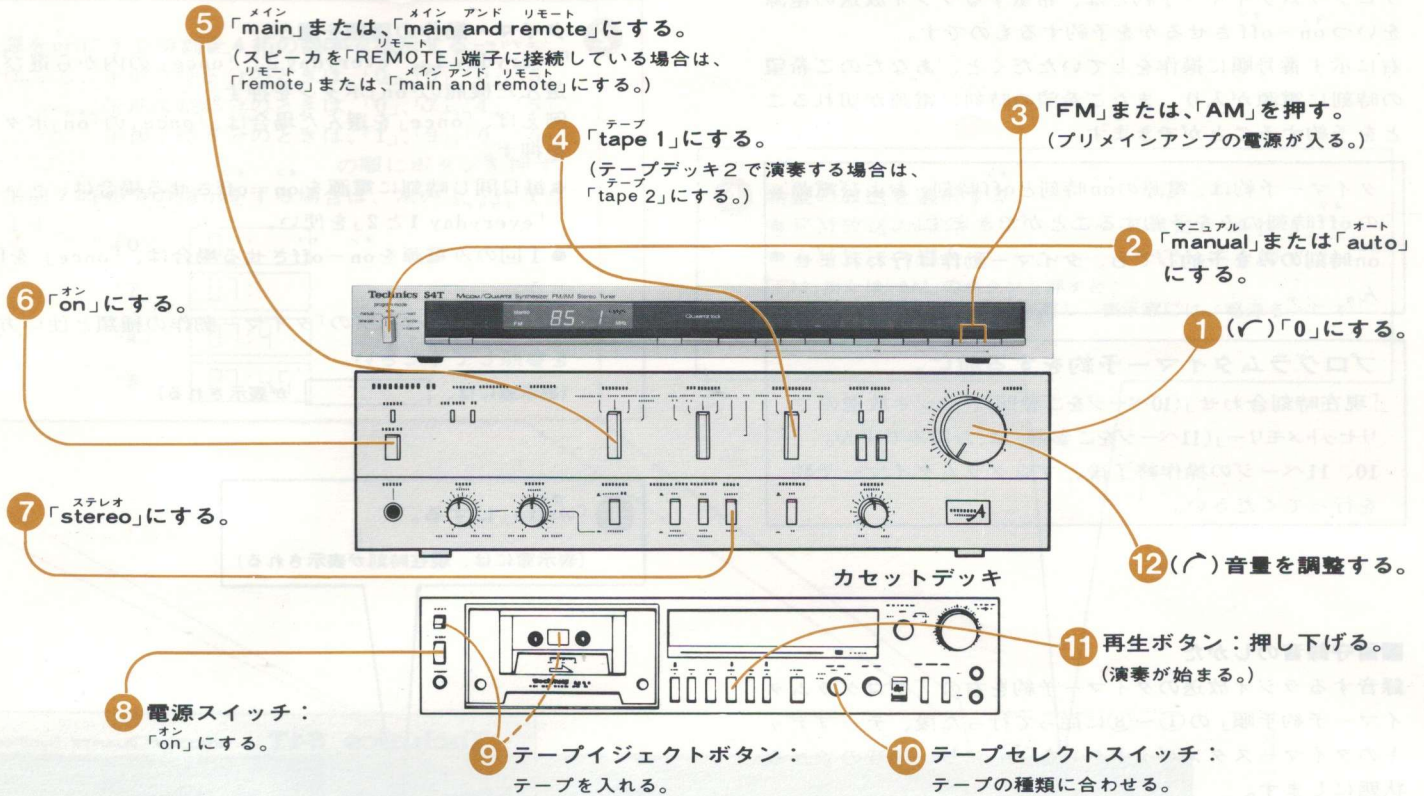
12 レコードサイズセレクトボタン：
レコードの大きさに合わせる。

13 スタート/ストップボタン：
押し込む。
(演奏が始まる。)

14 (✓) 音量を調整する。

注. ④～⑭の手順は、使用する機器により異なります。

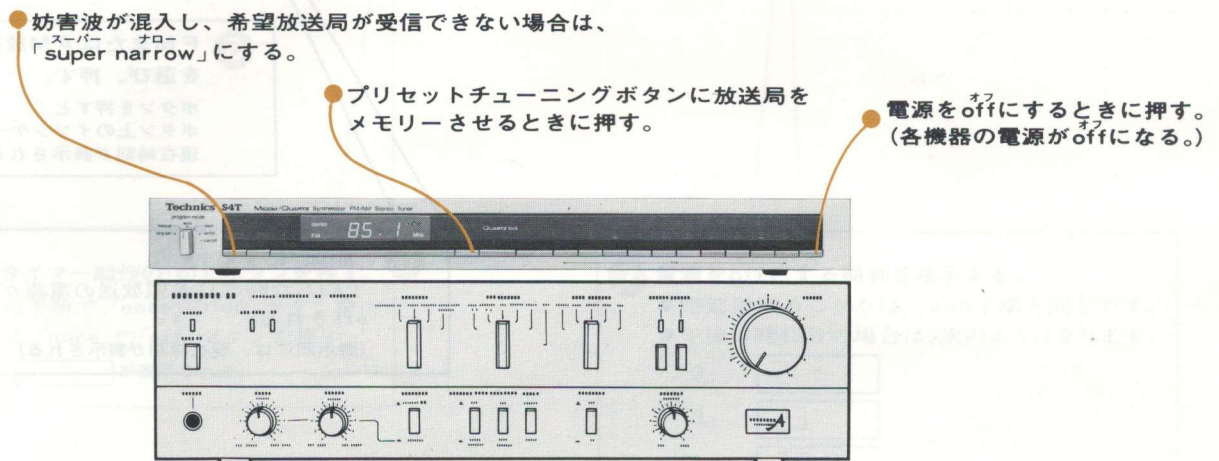
テープ演奏の聞き方



注. ④～⑫の手順は、使用する機器により異なります。

すべてに共通した操作

(各項目とも、必要に応じて操作する。)



ご 注 意

ラジオ放送受信中やレコード演奏中にプログラムモードスイッチを「read」にすると、各機器の電源が切れ、音が出ません。

プログラムタイマー予約のしかた (すべて番号順に操作してください)

プログラムタイマー予約とは、希望するラジオ放送の電源をいつon-offさせるかを予約するものです。

右に示す番号順に操作をしていただくと、あなたのご希望の時刻に電源が入り、またご希望の時刻に電源が切れることを予約することができます。

タイマー予約は、電源のon時刻とoff時刻、および電源のoff時刻のみを予約することができます。
on時刻のみを予約しても、タイマー動作は行われません。

プログラムタイマー予約をする前に。

「現在時刻合わせ」(10ページをご参照)、「ラジオ放送のプリセットメモリー」(11ページをご参照)は、お済みですか。

10、11ページの操作終了後、プログラムタイマー予約を行ってください。

■留守録音のしかた

録音するラジオ放送のタイマー予約を右の「プログラムタイマー予約手順」の①～⑧に従って行った後、テープデッキのタイマースタンバイボタンを「on」にし、録音のできる状態にします。

希望時刻に電源が入り、録音が行われ、希望時刻に電源が切れます。

なお、テープデッキの電源コードは、必ずプリメインアンプの電源コンセント(AC OUTLETS)に接続してください。

注、プログラムタイマーの予約中にボタンを押し違えた場合は、一度、それまでの予約を解除し、最初からやりなおしてください。

解除のしかたは、18ページの「タイマー予約内容の解除のしかた」を参照してください。

プログラムタイマーの予約手順

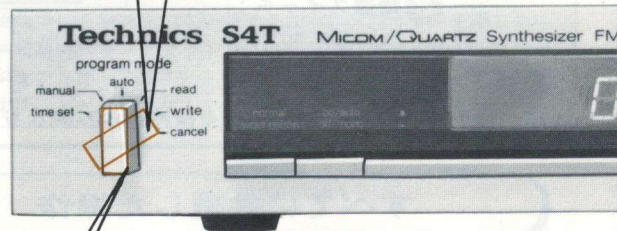
- 2 タイマー動作の種類を選ぶ。
「everyday 1」、「everyday 2」、「once」の内から選び、選んだ機能の「on」ボタンを押す。
例えば、「once」を選んだ場合は、「once」の「on」ボタンを押す。
- 毎日同じ時刻に電源をon-offさせる場合は、「everyday 1と2」を使い、
 - 1回のみ電源をon-offさせる場合は、「once」を使う。

詳しくは、17ページの「タイマー動作の種類と使い方」を参照してください。

(表示窓には、 : が表示される)

- 1 「write」にする。

(表示窓には、現在時刻が表示される)



- 5 FMまたはAM放送の聞きたい局のボタンを選び、押す。

ボタンを押すと：
ボタン上のインジケータが一瞬点灯し、表示窓には現在時刻が表示される。

- 8 「auto」にする。

予約した時刻に希望放送の電源がon-offされる。

(表示窓には、現在時刻が表示される)

3 電源を^{オン}にする時刻を4桁の数字で指示する。

- 従って、午前0時5分のときは、「0」、「0」、「0」、「5」、
午前7時45分のときは、「0」、「7」、「4」、「5」、
午後7時5分のときは、「1」、「9」、「0」、「5」、
の順にボタンを押す。

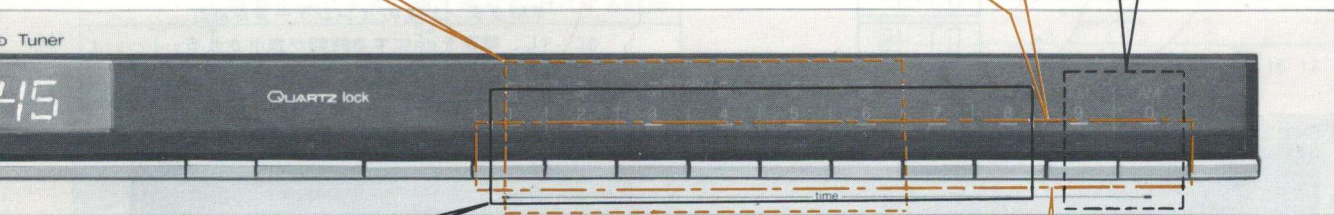
- 午前7時45分の指示をする場合は、次のようになります。

「0」	<input type="text" value="0"/>	:	<input type="text" value=""/>
「7」	<input type="text" value="07"/>	:	<input type="text" value=""/>
「4」	<input type="text" value="07:4"/>	:	<input type="text" value=""/>
「5」	<input type="text" value="07:45"/>	:	<input type="text" value=""/>

4 希望の放送を選択する。

- FM放送の場合……………「FM」を押す。
- AM放送の場合……………「AM」を押す。

「FM」または「AM」のボタンを押すと：
ボタン上のインジケータが点灯し、表示窓には、電源を^{オン}にする時刻が表示される。



6 ②で押したタイマー動作の「^{オフ}off」ボタンを押す。

例えば、②の手順で、「^{ワンタイム}once」の「^{オン}on」ボタンを押した場合は、「^{ワンタイム}once」の「^{オフ}off」ボタンを押す。
(表示窓には、 : が表示される)

7 電源を^{オフ}にする時刻を指示する。

- 時刻指示のしかたは、③の手順と同じです。
- 午後11時45分の場合は、次のようになります。

「2」	<input type="text" value="2"/>	:	<input type="text" value=""/>
「3」	<input type="text" value="23"/>	:	<input type="text" value=""/>
「4」	<input type="text" value="23:4"/>	:	<input type="text" value=""/>
「5」	<input type="text" value="23:45"/>	:	<input type="text" value=""/>

と表示され、直後に現在時刻が表示される。

ボタンを押し違えた場合は、1度4桁を押した後、再度⑥の操作を行い、^{オフ}off時刻を指示してください。

具体的なプログラムタイマー予約のしかた

例えば、
毎朝午前7時45分にFM放送（プリセットチューニングボタンの(3)にメモリーした局）で目覚め、午前8時30分に電源を切る場合の手順は、次のようになります。

1 ライト
「write」にする。

(表示窓には、現在時刻が表示される。)

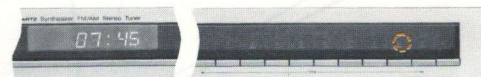
2 エブリデー
「everyday 1」の「on」を
押す。

(表示窓には、 : が表示される。)

3 タイマーセットボタン(1)
～(0)で、電源をオンにする
時刻を指示する。
「0」、「7」、「4」、「5」の順に押す。

「0」	<input type="text"/> 0 : <input type="text"/>
「7」	<input type="text"/> 07 : <input type="text"/>
「4」	<input type="text"/> 07 : 4 <input type="text"/>
「5」	<input type="text"/> 07 : 45 <input type="text"/>

4 FMを押す。



FMボタン上段のインジケータが点灯し、電源をオンにする時刻が表示される。



5 (3)のプリセットチューニングボタンを押す。

(3)のインジケータが一瞬点灯し、



表示窓には、現在時刻が表示される。

6 エブリデー
「everyday 1」の「off」を
押す。

(表示窓には、 : が表示される。)

7 タイマーセットボタン(1)～(0)で
電源をオフにする時刻を指示する。
「0」、「8」、「3」、「0」の順に押す。

表示窓には、「0」	<input type="text"/> 0 : <input type="text"/>
「8」	<input type="text"/> 08 : <input type="text"/>
「3」	<input type="text"/> 08 : 3 <input type="text"/>
「0」	<input type="text"/> 08 : 30 <input type="text"/>

と表示され、直後に現在時刻が表示される。

8 オート
「auto」にする。

(表示窓には、現在時刻が表示される。)

これで、毎日同じ時刻に同じ放送局の電源がオン・オフされます。

タイマー動作の種類と使い方


タイマー動作は、「エブリデー everyday 1」、「エブリデー everyday 2」、「ワンス once」の3種類があります。

- 毎日同じ時刻に電源をオン—オフさせたい場合は、「エブリデー everyday 1」と「エブリデー everyday 2」を使用し、
- 1回のみ電源をオン—オフさせたい場合は、「ワンス once」を使用します。

効果的な使い方として

- 「エブリデー everyday」は、
毎日同じ時刻に朝の目覚まし用として、自動的にラジオ放送の電源をオン—オフしたり、お休みになった後自動的に電源をオフにする場合に利用し、
- 「ワンス once」は、
例えば、当日の午後の番組みだけを予約したり、また留守録音をする場合に利用すると便利です。

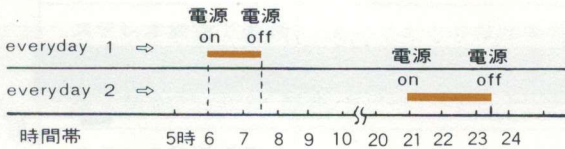
次に使い方の事例を紹介するので効果的にご利用ください。

注、は、タイマーが動作(通電)している状態を表わします。

1. 目覚まし用とお休み用にタイマー予約をする場合。

次の予約をすると、毎日同じ時刻に電源がオン—オフされます。

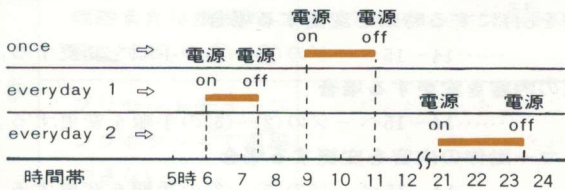
	電源をonにする時間	電源をoffにする時間
everyday 1	6:00	7:30
everyday 2	21:00	23:30



2. 1回だけ電源をオン—オフする場合。

この場合は、タイマー動作の「ワンス once」を使います。「ワンス once」は、1回動作すると解除され、「エブリデー everyday 2」と「エブリデー everyday 1」は、翌日も引き続き動作します。

	電源をonにする時間	電源をoffにする時間
once	9:00	11:00
everyday 1	6:00	7:30
everyday 2	21:00	23:30



3. タイマー動作の優先順位

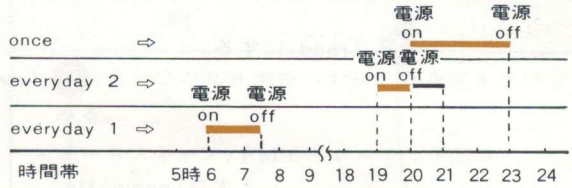
3種類あるタイマー動作が重なってタイマー予約されたとき、それぞれが動作する優先順位がありますので、間違っ予約をすると希望時刻に電源が入らないなどの問題が発生します。

次の事例を参考に動作する優先順位をよくご理解ください。

- 1) タイマーが動作する優先順位は、「ワンス once」、「エブリデー everyday 2」、「エブリデー everyday 1」の順です。

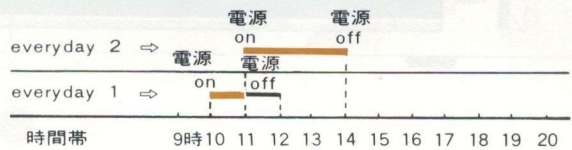
(1) 次のようなタイマー予約の場合は、「ワンス once」が優先し、「エブリデー everyday 2」は、20:00以降「ワンス once」の動作に移行しなす。

	電源をonにする時間	電源をoffにする時間
once	20:00	23:00
everyday 2	19:00	21:00
everyday 1	6:00	7:30



(2) 次のようなタイマー予約の場合は、「エブリデー everyday 2」が優先し、「エブリデー everyday 1」は、11:00以降「エブリデー everyday 2」に移行します。

	電源をonにする時間	電源をoffにする時間
everyday 2	11:00	14:00
everyday 1	10:00	12:00



2) 動作する順位の高いタイマー動作が動作中の時間帯に、順位の低いタイマー動作の電源をオンになるように予約しても、順位の低いタイマー動作の電源は入りません。

(1) 次のようなタイマー予約の場合は、「エブリデー everyday 2」の電源は入りません。

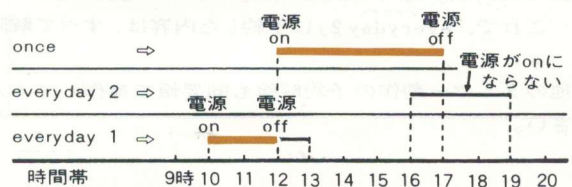
	電源をonにする時間	電源をoffにする時間
once	10:00	14:00
everyday 2	12:00	17:00



(2) 次のようなタイマー予約の場合は、

「エブリデー everyday 1」は、12:00以降「ワンス once」に移行し、また「エブリデー everyday 2」の電源はオンになりません。

	電源をonにする時間	電源をoffにする時間
once	12:00	17:00
everyday 2	16:00	19:00
everyday 1	10:00	13:00



タイマー予約をした内容の確認のしかた

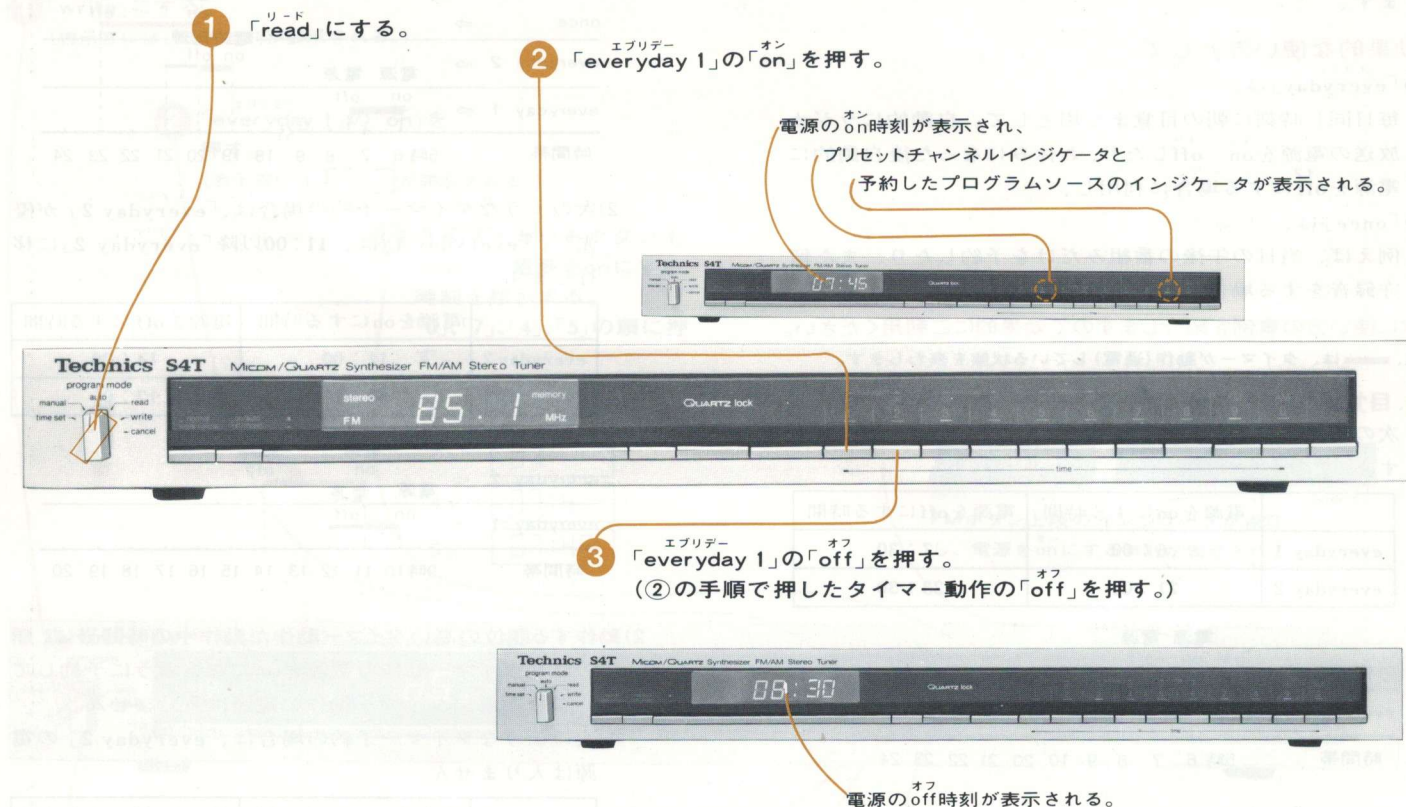
タイマー予約をした内容を確認する場合は、この操作をしてください。

例えば、

タイマー動作が「^{エブリデー}everyday 1」で、午前7時45分にFM放送

(番号順に操作してください。)

[(3)のチャンネルボタンにメモリーした局]の電源が^{オン}になり、午前8時30分に電源が^{オフ}になるようにタイマー予約した場合の確認は、次の手順で行います。



タイマー予約内容の解除のしかた (cancel)

プログラムモードスイッチ⑭を「^{キャンセル}cancel」にし、解除するタイマー動作(「^{エブリデー}everyday 1」、「^{エブリデー}everyday 2」、「^{ワンタイム}once」のどれか)の「^{オン}on」および「^{オフ}off」ボタンを押してください。ボタンを押すと一瞬インジケータが点灯し、解除されたことを表わします。

なお、「^{オン}on」と「^{オフ}off」のボタンを続けて早く押すと解除されない場合がありますので、ボタンはゆっくりと確実に押してください。

●例えば、「^{エブリデー}everyday 2」の予約を解除したい場合は、

1. プログラムモードスイッチ⑭を「^{キャンセル}cancel」にし、
2. 「^{エブリデー}everyday 2」の「^{オン}on」と「^{オフ}off」のボタンを押す。

これで、「^{エブリデー}everyday 2」に予約した内容は、すべて解除されます。

●他のタイマー動作の予約解除も同要領で操作してください。

タイマー予約内容の変更のしかた

タイマー予約をした内容を一部変更する場合は、次の要領で操作してください。

1. 電源を^{オン}にする時刻を変更する場合
……14～15ページの②～⑤の手順を変更する。
2. 電源を^{オフ}にする時刻を変更する場合
……14～15ページの⑥～⑦の手順を変更する。
3. 放送の内容を変更する場合
……14～15ページの②～⑤の手順を変更する。
4. タイマー動作の内容を変更する場合
……14～15ページの②～⑦の手順を変更する。

異常症状と対策

修理を依頼される前に再度この表をご確認ください。

なお、これらの処置をしても直らない場合やこの表以外の症状は、お求めの販売店またはナショナル消費者ご相談窓

口(別紙)にご相談ください。

注. この表は、本機とTechnicsのSU-V7の組合せを基本に作成しています。

	症 状	主 な 原 因	対 策
F	FMステレオ放送のとき、モノラル放送に比べ「サー」というノイズが出る。	FMステレオ電波はモノラル電波に比べ、変調のしかたが異なるのでノイズが少し出る。	<ul style="list-style-type: none"> • プリアンプの高音調整つまみで高音部を下げてみる。 • オートスキャン/FMモードスイッチ⑫を、「^{オフ}off/^{モノ}mono」にする。 (この場合、放送はモノラルになる。)
	モノラル放送、ステレオ放送とも雑音が多い。	<ul style="list-style-type: none"> • アンテナの設置場所や向きが不適當。 • 送信所が遠い。 	<ul style="list-style-type: none"> • アンテナの設置場所、高さ、向きを変えてみる。 • 室内アンテナの場合は、屋外アンテナにする。 • 素子数の多いアンテナに変えてみる。
M	FMステレオインジケータが「チカチカ」光り、完全に点灯しない。	<ul style="list-style-type: none"> • アンテナの設置場所や向きが不適當。 • 送信所が遠い。 	<ul style="list-style-type: none"> • アンテナの設置場所、高さ、向きを変えてみる。 • 室内アンテナの場合は、屋外アンテナにする。 • 素子数の多いアンテナに変えてみる。
	音がひずんだり小さくなったりする。	<ul style="list-style-type: none"> • 電波の乱れ。 • 近くを自動車が走っていたり、飛行機が飛んでいる。 	
放	ステレオ放送で雑音が多く、時々音が出なくなる。	<ul style="list-style-type: none"> • アンテナの設置場所や向きが不適當。 • 送信所が遠い。 	
	ステレオ放送で音にひずみが多い。	近くにビルや山がある。 〔送信所からの電波(直接波)とビルや山に反射した電波(反射波)との干渉によりマルチパスひずみが生じる〕	
送	自動車が通ると「バリバリ、ガリガリ」という雑音が入る。	自動車のエンジンが発火する際に生じるイグニッションノイズのため。	アンテナとその引き込み線を自動車の通る街路から離れた所に設置する。
	「ザーザー、ジージー」という雑音が連続的または断続的に発生する。	電気器具から発生する放電現象や発振現象(蛍光灯、テレビ、小型直巻モータ、電気接点、整流装置など)による影響。	<ul style="list-style-type: none"> • 本機と雑音源である電気器具を離してみる。 • 電気器具または本機に雑音防止器を取り付ける。
と	プリセットチューニングボタン④で選局できない。	プリセットチューニングボタン④にプリセットメモリーされていない。	希望の放送をプリセットメモリーする。 (11ページを参照してください)
	プリセットチューニングボタン④で選局し、周波数表示は出ているが音が出ない。	放送電波が弱く、オートスキャン/FMモードスイッチ⑫が「 ^{オン} on/ ^{オート} auto」(■→■)になっている。	「 ^{オフ} off/ ^{モノ} mono」(■→■)にする。
き			

異常症状と対策 (続き)

	症 状	主 な 原 因	対 策
A M 放 送 の と き	「ピーピー、チーチー」という音(ビート音)が入る。	テレビと同時に使用している。	テレビを消す。またはテレビとの距離を離す。
	放送に合わせて、ブーンという低い音(同調ハム)が入る。	アンテナ線が電源コードに近い。	アンテナ線と電源コードを離す。
		セットの電源コードを伝わってくる電波が電源周波数で変調を受ける。	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグの向きを反対に差し替えてみる。 屋外に専用アンテナを設置する。
「ザーザー、ジージー」という雑音が連続的または断続的に発生する。	電気器具から発生する放電現象や発振現象(蛍光灯、テレビ、小型直巻モータ、電気接点、整流装置など)による影響。	<ul style="list-style-type: none"> 本機と雑音源である電気器具を離してみる。 電気器具または本機に雑音防止器を取り付ける。 	
す べ て に 共 通 し た 症 状	ステレオのとき、各楽器の位置が定まらない。	スピーカコードの接続が⊕、⊖逆になっている。	スピーカコードの接続(⊕、⊖)を正しくする。
	ステレオのとき、左右の音が逆になる。	スピーカコードの接続が左右逆。	スピーカコードの接続を正しくする。
		各機器との接続コードの接続が左右逆。	各機器との接続コードの接続を正しくする。
	演奏中にブーンという低い音(ハム音またはバス音)が入る。	接続コードの近くに電源コードや蛍光灯などがある。	<ul style="list-style-type: none"> 電気器具をできるだけ離してみる。 電源プラグの向きを反対に差し替えてみる。
		アース線の接続が不完全。	<ul style="list-style-type: none"> アース線の接続を確かめる。 アースを設置していない場合は、設置してみる。
	片側のスピーカだけ音が出ない。	スピーカコードが外れている。	スピーカコードの接続を確認する。
		アンプの音量バランス調整つまみが中央になっていない。	つまみの印を中央にする。
	ラジオ放送とレコード演奏時の音量に差がある。	電波の強さとレコードの出力が異なるため。	アンプの音量調整つまみで音量を調整する。
	セレクト兼電源 ^{オン} スイッチ②を押しても音がでない。	プログラムモードスイッチ⑭が「 ^{リード} read」、 ^{ライト} 「write」または「 ^{キャンセル} cancel」になっている。	「 ^{オート} auto」または「 ^{マニュアル} manual」にする。
プログラムモードスイッチ⑭を「 ^{タイム} time set」にすると音が出なくなった。	プログラムモードスイッチ⑭の切り替え方が不完全。	スイッチを「 ^{マニュアル} manual」にして、再度「 ^{タイムセット} time set」にする。	
ラジオ放送受信はされているが、セレクト切り替え、選局、電源 ^{オフ} の操作ができない。	プログラムタイマー予約の動作が行われている。	プログラムモードスイッチ⑭を「 ^{マニュアル} manual」にして操作する。	

	症 状	主 な 原 因	対 策
す べ て に 共 通 し た 症 状	ラジオ放送受信中にプログラムモードスイッチ⑭を「read」にすると音が出なくなりました。	「read」にすると、すべての機能が、offとなるために音が出ない。	「auto」または「manual」にして操作する。
	ラジオ放送受信中に電源がoffになった。	プログラムタイマー予約動作のoff時刻が動作した。	プログラムモードスイッチ⑭を「manual」にして手動でラジオ放送受信の操作をする。
	プログラムタイマー予約した時刻になっても電源がon-offされない。	タイマープログラムメモリーボタン③に正しくタイマー予約がメモリーされていない。	「プログラムタイマー予約」の手順通りに正しく操作をしない。 (14ページを参照してください。)
	ラジオ放送受信中に急に音が出なくなり、各つまみやボタンを押してもセットが正常に動作しない。	電気器具などから発生する放電現象や発振現象(蛍光灯、テレビ、小型直巻モータ、電気接点、整流装置など)による影響。	<ul style="list-style-type: none"> 本機と雑音源である電気器具を離してみる。 電気器具または、本機に雑音防止器を取り付ける。 <p>この症状が発生した場合は、上記の対策をした後、次の処置をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 電源コードをコンセントからはずし、乾電池を取り出す。 乾電池を再度入れて(4ページご参照)、電源コードをコンセントに差し込む。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>この場合、時刻表示、プログラムタイマー予約、プリセットメモリー、ラストワンメモリーのすべてが解除されますので、再度メモリーのやり直しをしてください。</p> </div>
	停電になった後、表示窓に「E:」が現れた。	乾電池が消耗して、バックアップが行われなくなった。	乾電池を新しいものと交換する。ただし、この場合は、時刻表示、プリセットメモリー、タイマー予約、ラストワンメモリーが解除されていますので、再度、時刻指示などを行ってください。
	演奏中に音が出なくなった。(各機器のランプは点灯している。)	入力に直流成分が加わったため。(アンプの保護回路が動作した。)	各機器の接続部(特にスピーカ接続端子など)を確認し、なお音が出ない場合は、お求めの販売店またはナショナル消費者ご相談センターに修理を依頼する。

定 格

■FMチューナ部

受信周波数帯	: 76.1MHz~89.9MHz
実用感度 (75Ω)	: 12.8dBf 1.2μV (IHF'58)
S/N 50dB (75Ω)	
モノラル	: 18.1dBf 2.2μV (IHF'58)
ステレオ	: 38.1dBf 22μV (IHF'58)
全高調波歪率	
モノラル	: 0.06% (normal)
ステレオ	: 0.08% (normal)
S/N比 モノラル	: 80dB
周波数特性	: 20Hz~15kHz ± 0.5 dB
実効選択度	
normal	: 60dB (400kHz)
super narrow	: 20dB (200kHz)
キャプチャレシオ	: 1.0dB
イメージ妨害比 (83MHz)	: 75dB
IF妨害比 (83MHz)	: 95dB
スプリアス妨害比 (83MHz)	: 95dB
AMサプレッション	: 55dB
ステレオセパレーション	
1 kHz	: 55dB
10kHz	: 40dB
リークキャリア (19kHz)	: -35dB
アンテナ端子	: 75Ω (不平衡型)

■AMチューナ部

受信周波数帯	: 522kHz~1611kHz
実用感度 (S/N=20dB)	: 250μV/m, 30μV
選択度	: 55dB
イメージ妨害比	: 45dB
IF妨害比	: 40dB

■タイマー部

クロック機能	: クォーツロック式, 24時間表示
時間精度 (平均室温25°C)	: 月差±10秒以内
タイマー機能	: 24時間のタイムプログラミング everyday動作: 2回, once動作: 1回
プログラム内容	: FM/AMの受信局と電源on-off 時刻の設定
タイマーセット時間間隔	: 0時0分~23時間59分 (1分間隔)
優先動作	: once, everyday 2, everyday 1の順で優先動作
停電補償	: 約2ヵ月

■総合

出力電圧	: 0.6V
消費電力	: 7W
電源	: AC100V 50Hz/60Hz
乾電池	: SUM-3: 1.5V×3 メモリーバックアップ用単3 乾電池
寸法 (幅×高さ×奥行)	: 430×53×300mm
重量	: 3.3kg